伊那弥生ケ丘高等学校
校長通信 ～知徳兼ねつつ たくましく～
第 13 号
令和7年 11 月5日

器楽部 最優秀賞を受賞・・・*県ギタマンフェスで快挙*

11 月 3 日（月）、第 55 回長野県高等学校ギター・マンドリンフェスティバルが千曲市更埴文化会館（信州の幸あんずホール）で開催され、本校の器楽部が参加しました。

フェスティバルの歩み

本フェスティバルは 1971 年（昭和 46 年）に開催された第 1 回から半世紀以上の歴史を刻んできました。当時から長野県では情熱にあふれた高校生による演奏が行われ、その演奏の魅力はどの時代の高校生をも惹きつけてきました。参加校数は 20 校を超えた年もありましたが、ここ 20 年程は 8 校前後で推移しています。

本校の演奏

本校の演奏

3 年生が 7 月の全国コンクールを区切りに引退し、その後は 1 ・ 2 年生 32 名で日々の練習を積んできました。練習場所や練習時間を工夫し、個人・パート・全体練習を重ねながらより良い音作りを追究して、合奏の質を高めてきました。発表曲『樹魂の歌』の演奏は、緩やかな曲調の中でマンドリンとギターの各パートがそれぞれ存在感を示しながらも全体として美しいハーモニーと迫力のあるものでした。

審査員の先生の講評を聞く

審査の結果

8 校すべてが「優秀賞」を受賞し、来年 8 月に大阪で開催される全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールに出場できることになりました。その中で、本校は「最優秀賞」を得ることができました。6 年連続の快挙です。直前のリハーサルでもうまく演奏できない場面もあり、また、他校も素晴らしい演奏を披露したことから、結果を聞いて涙ぐむ生徒もいました。自信を持ちつつ、全国に向けてさらに技術を磨いてほしいと思います。

表彰式後の集合写真